

令和6年度 第1回 佐藤小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

1. 開催日時 令和6年4月23日(火) 13時10分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、伊藤 安男、湯山 紀美代、磯部 栄里子、一ノ瀬 正行、
安富 小織
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 神谷 匠 (東部協働センター コミュニティ担当)
6. 学 校 伊藤 千恵 (校長)、高木 康泰 (教頭)、大石 葉子 (CS担当)、
鈴木 雅子 (CSディレクター)
7. 教育委員会 鈴木 陽子 (教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 雅子

10. 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、酒井委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止対策方針について
- (3) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

12. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 佐藤小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

一ノ瀬委員 佐藤小は学級数が少ない分『個別最適な学び』に取り組みやすい環境だと思う。

尾上委員 『個別最適な学び』の取り組みがとてもよい。個人ということではなく少人数で話し合うことで個の考えや意見が見えてくる。それによって自立した学習者を目指すことができると思う。

『議論する道徳科の実践』もよい。導くのではなく議論の中で理想だけではない答えを見付けてほしい。ぜひ機会があれば参観してみたい。

安富委員 自分の意見を出すことはよいことなので、安心して発言できる環境ができるとよい。卒業時の姿を見据えて色々な経験を積んでほしい。

磯部委員 自分の意見を大勢の場で主張するのは高学年になると難しくなってくるので、子供たちの気持ちを教師に伝えるためにも『個別最適な学び』はとても大切だと思う。

(2) 浜松市立佐藤小学校いじめ防止対策方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、いじめ防止対策方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

尾上委員 今と昔ではいじめの定義が違うので大人たちは時代の流れを理解し、考え方を変えていかなければならないと思う。

伊藤委員 子供たちを助けたり守ったりする機関は学校の外にも存在する。救いの手はたくさんある。子供たちは頼れるところにどんどん頼ってほしい。

安富委員 子供によっては親や周りの人たちに頼ることができず、つらい思いを抱えたまま過ごしている。どんな些細なことでも周りが気付き子供が頼れる環境ができるとよい。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業について説明があった。

特に意見や異論はなく、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

次回会議は、令和6年6月25日(火)13時10分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。

また次回会議までに行われる、さとっこ大運動会、参観会・引渡訓練についての案内があった。